

2007年

四旬節愛の献金

総額 6,932,575円

(7月13日現在)

皆さまのご支援、ご協力に
心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

発行所

カトリック長崎大司教区 広報委員会

発行人

中 田 輝 次

〒852-8113 長崎市上野町10-34

カトリックセンター内

TEL095(843)3869 FAX095(843)3417

郵便振替番号 01880-5-2699

カトリック長崎大司教区ホームページ

http://www.nagasaki.catholic.jp

印刷所

株式会社 藤 木 博 英 社

〒850-0852 長崎市万屋町5-13

TEL095(821)2146 FAX095(821)2148

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY

カトリック長崎大司教区報

8月・教皇さまの
意向のために
祈りましょう

① 真の幸福の発見
② 中国の教会
③ 核とテロのない世界
の建設

2006年度決算に関する報告

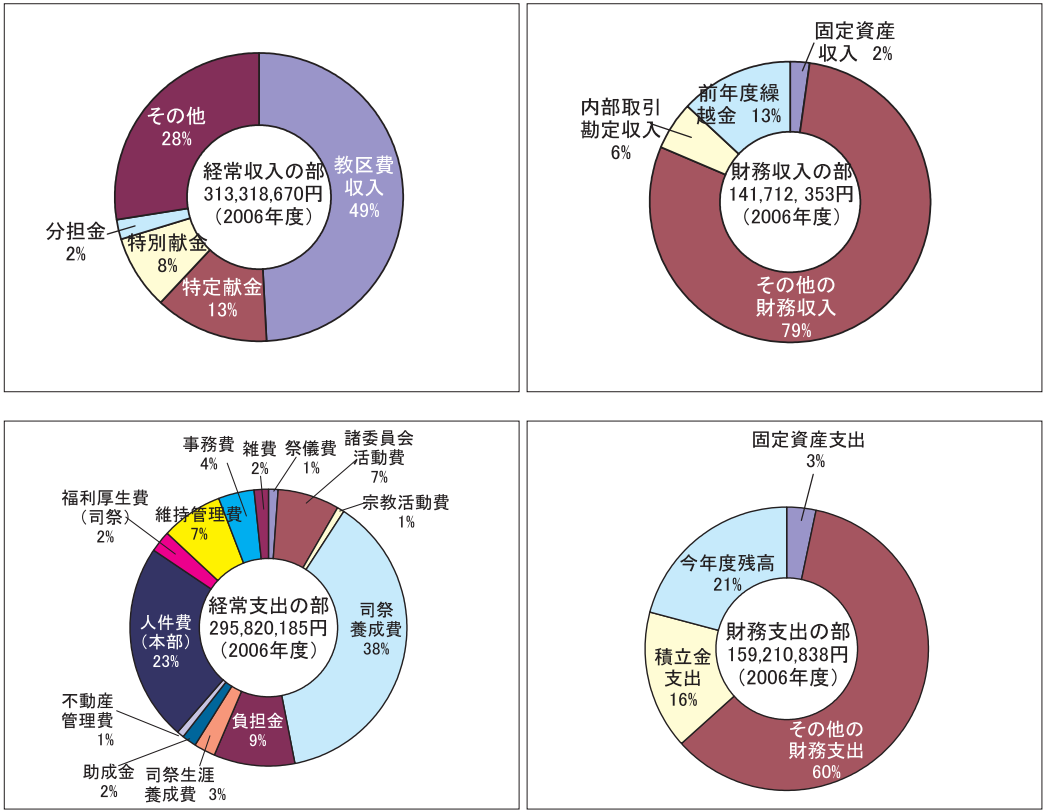
大司教区の2006年度の収支決算書が6月11日、教区顧問会で承認された。

今年度も昨年度に引き続き、経常と財務を一緒にした収支決算書となっている。教区費(大浦天主堂からの補てんをなくすことを目指した)は、2006年度は前年度より、約60万円の増加となっている。信徒の皆さまのご尽力であると同時に、長崎県も景気の上向きが感じられることの表れであろうか。

教区経済問題評議会の諮問に従い今年度から、収支予算・決算は単年度方式に変更となった。それに伴い、次年度繰越金ではなく、今年度残高となっている。信徒の皆さまからの浄財を有効に活用するためには、必要以上の繰越金を残さないためである。

高見大司教は、決算会議の中で「教区経済改革中なので、多少の戸惑いを感じさせることになるかもしれませんが、少しでも理解していただき、今後も信徒の皆さまをはじめ、主任神父さまのより一層の努力と協力をお願いしたい」と話された。

センター事業部の収支決算書も掲載している。宿泊者数(目標8,000人、実績7,653人)・会議室利用率はほぼ予定通りであったが、カフェ部門が予定より赤字となった。前年度に引き続き改装工事費などの投資費用と重なり、最終的には約1,800万円の借入となっている。

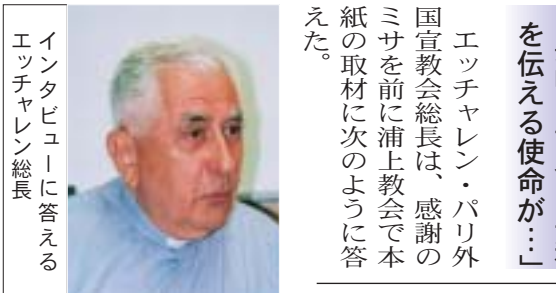


教区が主催し長崎中地区の協力を得て記念行事を行ったこの日は、長崎教区が正式に邦人司教区となった7月16日の「前夜」に当たる記念すべき日となった。

講演したパリ外国宣教会の日本管区長シエガレ神父は、「パリ外国宣教会の来日の目的と宣教の歴史」について話した。特に信仰を引き継ぐ現代に生きる信徒がどうあるべきかを問い掛けた。講



話から、日本の宣教に命を懸け、日本の文化を大切にしつつ西欧的要素を一般信徒の協力が、パリ外国宣教会の宣教師の働きの上に多大の恵りをもたらしたことをあえて強調し、数の上での福音宣教に行き詰まりが感じられる日本の教会にあって、今後の教区のあり方に大きな示唆を与えてくれたミサに組み込まれた感謝式では、パリから来崎の総長エッチャレン神父



「長崎は信者発見という感動的な歴史を持ち、この出来事はパリ外国宣教会にとって日本での宣教の原点だと思っています。各地区の行事は2面に」

また、「長崎には他の教会とは違う使命、預言的な使命があると思います。ひとつはかつての信徒たちのように、困難な状況にも屈せずに信仰の自由を証ししてほしい。もうひとつは、長崎が原爆を受けたこと。平和のシンボルとして世界に平和を考えさせていくしてほしい、その使命があると思います」と語った。

教区主催の邦人司教区設立80周年記念行事が、7月15日(日)浦上教会で開催された。約800人の信徒はパリ外国宣教会の日本管区長の講演を熱心に聴き、ミサと感謝式の中で長崎教区の土台作りに全身全霊を注いだ宣教師たちの功績をたたえた。

いかに融合させるか腐心したこと、彼らの宣教魂や宣教の実は人間の業ではなく、神の業であること、そして神のみ旨が行われるよう、多忙の中にも観想の祈りを怠らず、つねに神とともに働くことを心がけたことが伝わってきた。

シエガレ神父は信徒を見後、心血を注いで育てた邦人司祭、伝道師、一般信徒の協力が、パリ外国宣教会の宣教師の働きの上に多大の恵りをもたらしたことをあえて強調し、数の上での福音宣教に行き詰まりが感じられる日本の教会にあって、今後の教区のあり方に大きな示唆を与えてくれたミサに組み込まれた感謝式では、パリから来崎の総長エッチャレン神父

カトリックセンター事業部門

収入の部	
科 目	決算額
旅館売上(宿泊料)	34,303,237
(会議室)	(23,240,000)
(食堂)	(2,486,425)
(食堂)	(8,576,812)
雑収入	1,278,192
立替金	18,040,998
合 計	53,622,427

支出の部	
科 目	決算額
給料及手当	23,506,800
福利厚生費	3,508,694
什器備品	0
消耗品費	2,676,780
修繕費	658,025
旅費交通費	1,153,318
通信費	443,459
水道光熱費	2,673,145
下水使用料	313,018
燃料費	651,720
広告宣伝費	474,823
租税公課	2,625,388
交際接待費	88,520
保健衛生費	853,540
雑費	2,664,961
原材料仕入代	5,653,206
保険・会費	785,030
消費税	1,103,600
工事費	3,788,400
立替金支出	0
合 計	53,622,427

長崎大司教区

[収入の部]			
科 目	本年度決算	(%)	
1.経常収入の部	313,318,670	68.8	
教区費	154,266,375	33.9	
信徒	136,996,375		
司祭	11,920,000		
修道会	5,350,000		
特定献金	39,910,825	8.8	
神学生養成援助費	14,562,710		
広報の日献金	2,805,207		
聖ペトロ献金	8,284,897		
難民移住移動者献金	2,908,481		
世界宣教献金	2,980,143		
宣教地司祭育成献金	3,007,751		
児童福祉献金	5,361,636		
特別献金	26,403,634	5.8	
寄付金	17,474,968		
献金収入(本部関係)	4,585,000		
ミサ納金(ビナチオリナチ)	1,451,000		
ミサ献金(教区行事)	2,892,666		
分担金	6,486,617	1.4	
小神学院(他教区)	6,209,942		
コレジオ(他教区)	276,675		
その他	86,251,219	18.9	
諸委員会収入	3,965,116		
基金取崩収入	45,095,574		
受取利息	40,571		
雑収入	37,149,958		
2.財務収入の部	123,251,574	27.1	
固定資産収入	3,150,000	0.7	
受取家賃	3,150,000		
その他の財務収入	112,060,000	24.6	
内部貸付金回収	22,010,000		
立替金返済収入	0		
国宝保存委員会繰入	90,000,000		
基金取崩収入	0		
土地売却収入	50,000		

科 目	本年度決算	(%)
内部取引勘定収入	8,041,574	1.8
教区本部勘定収入	8,041,574	
3.前年度繰越金	18,460,779	4.1
前年度繰越金	18,460,779	
収入の部合計	455,031,023	100.0

[支出の部]		
科 目	本年度決算	(%)
1.経常支出の部	295,820,185	65.0
祭儀費	3,070,164	0.7
祭儀費	3,070,164	
諸委員会活動費	21,927,161	4.8
宣教委員会	2,351,829	
生涯養成委員会	5,002,785	
信仰教育委員会	2,341,928	
典礼委員会	1,119,917	
財務委員会	35,000	
広報委員会	6,730,309	
家庭委員会	1,735,525	
召命委員会	392,779	
青少年委員会	639,218	
福祉委員会	1,012,166	
工・諸宗教委員会	565,705	
宗教活動費	2,180,094	0.5
教区評議会	1,180,094	
法務事務所	1,000,000	
司祭養成費	111,737,664	24.6
大神学校	40,510,997	
コレジオ	22,044,905	
小神学校	49,181,762	
負担金	27,676,483	6.1
中央協議会送金	17,991,786	
使徒座送金	9,084,697	
心のともしび	600,000	
司祭生涯養成費	7,876,460	1.7
黙想研修会	3,126,003	
司祭職の日	1,311,770	
海外留学費	3,438,687	

科 目	本年度決算	(%)
助成金	4,596,377	1.0
小教区助成金	1,829,909	
特別行事	2,766,468	
不動産管理費	2,876,233	0.6
管理費	176,840	
租税公課	2,699,393	
人件費(本部)	67,694,929	14.9
聖職者(司教・司祭)	18,862,000	
職員(シスター・一般)	35,980,800	
引退司祭	12,852,129	
福利厚生費(司祭団)	7,344,314	1.6
医療費	2,213,146	
医療共済制度	2,388,500	
年金	2,742,668	
維持管理費	21,367,572	4.7
大司教館	15,615,644	
センター(法人)	5,751,928	
事務費	12,755,334	2.8
本部事務室	7,629,433	
法人事務所	5,125,901	
雑費	4,717,400	1.0
雑費	4,717,400	
予備費	0	0.0
予備費	0	
2.財務支出の部	126,202,888	27.7
固定資産支出	5,190,798	1.1
購買部仕入	5,190,798	
その他財務支出	95,522,390	21.0
補助金	29,481,391	
内部貸付金	48,000,000	
立替金	18,040,999	
積立金支出	25,489,700	5.6
積立金	750,000	
土地・建物建設資金	0	
財務運用資金	0	
社会保険事業所(基金)	24,739,700	
3.今年度残高	33,007,950	7.3
今年度残高	33,007,950	
支出の部合計	455,031,023	100.0

平和祈願祭2007, 8, 9

テーマ・被爆マリアと共に祈る

光の行列
集合：午後6時30分(浦上天主堂)
出発：午後7時15分～

平和祈願ミサ
開始：午後8時～(平和公園)

注・雨天の場合は浦上教会で実施します
主催：カトリック長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会



ヨセフ松永久次郎司教
(福岡教区長)納骨式
日時 8月13日(月)14時
場所 福岡教区和田墓
地納骨堂(西鉄天神大
牟田線「大橋駅」下車
タクシーで約5分)
現地での納骨のミサと
納骨式が行われます。

各地区でパリ外国宣教会を歓迎

【長崎北地区】5月26日、出津教会にパリ外国宣教会のローランド神父を迎え、長崎北地区の邦人司教区80周年記念のミサが執り行われた。長崎北地区の神父をはじめ多くの信徒が集まる中、感謝の記念ミサが始まった。

説教の中でローランド神父は、現在いたるところで宣教師の必要に迫られ、多くの宣教師が長崎から育ち、派遣されることを願っている。

感謝式の中でもご聖体の大切さとともに、聖書のみ言葉を大切にし、み言葉の分かち合いの中で信仰が育つのだという事が強調された。

ミサの後、北地区の神父たちとともにド・ロ神父の墓に花をささげ、出津小教区内にある大野教会を訪問し、北地区の記念行事を終えた。



ド・ロ神父墓前に花を捧げるローランド神父

【長崎南地区】5月27日、地区内の教会訪問(「よきおとずれ」6月号掲載)の後に行われたローランド神父による講演会に多くの信者が参加した。浦上での迫害に宣教師たちは胸が引き裂かれる思いだったが、居留地から出ることができなかったこと、プチジャン司教は公會議に参加して、日本の信者の過酷な状況を教皇に報告しようとして涙で言葉が出なくなったこと、教皇ピオ9世がプチジャン司教を励ましてくれたことなどを聞きながら、受け継いだ信仰の重みをはっきり理解できた。

【佐世保地区】6月16日、ぐずついた天気であったにもかかわらず、会場となった相浦教会には300人もかかわらず、講演に立つシエガレ管区長

【平戸地区】6月17日、シエガレ師を迎え、記念ミサが田平教会の堅信式にあわせてささげられた。午後には、平戸教会で感謝式と記念講演会が開かれ200人ほどの信者が集まった。講演では、かつて平戸で宣教されたラゲ神父やマタラ神父の活躍が紹介された。特に40年この地に留まって宣教されたマタラ神父は、母国フランスを離れる時、両親から「息子よ、行きなさい。私たちは日本と神のために、あなたをささげます」と見送られ、その後一度も父母に再会することなく、一生を平戸の地にささげ尽くしたことが紹介された。現代社会での宣教心を駆り立てる実り多き話に、シスター方からも感謝の聖歌が贈られた。講演後、大司教、地区の司祭らと宝亀教会とマタラ神父の墓を訪ね、紐差教会まで足を運んだ。「本部への報告のために」と写真を取り続けていたシエガレ師が、かつて報告書を書き送った宣教師たちの姿と重なった。



講演に立つシエガレ管区長

【上五島地区】6月24日、上五島地区をシエガレ管区長が訪問し、講演会、感謝のミサ、茶話会が行われた。当日は、信徒、修道者、地区の全司祭らおよそ250人が集まった。講演会の中で、パリ外国宣教会の特徴、司祭たちの心について話した。当時の神父たちは何もないところに出かけて、味付け・形あるものとして、日本人の手にバトンタッチすることを目的としていること、その土地の「地の塩」になることを誇りにし、自立していく信者の姿を自分の喜びとしていることが話された。



子供達に親しく語りかけるシエガレ管区長

【長崎市の遺産・世界の遺産「癒やし」の系譜】

6月9日(土)長崎医師会創立百周年記念式典が長崎のベストウエスタンプレミアホテルで開催されました。この記念講演を西町教会の川上神父さまを通じて古巣神父さまにお願いし、快諾していただきました。日本医師会・各都市医師会代表をはじめ、政治・行政・大学関係者の参加の中、「260年も前に長崎はポルトガル人外科医アルメイダによって「癒やし」の意味を知り、その精神は長い歴史のキリシタン弾圧、昭和20年の被爆による徹底的な破壊の中でも受け継がれてきた。長崎の遺産は建造物や遺跡にあるのではなく、「庶民の癒やしと救い」にかかわってきたその精神にあるという趣旨の、非常に精神性の高い講演を賜り、ほとんどがカトリック信徒以外の聴衆でしたが、深い感銘を受け、素晴らしい記念式典を執り行うことができました。医師会より古巣神父さまはじめカトリック関係者に心より御礼申し上げます。



演壇に立つ古巣神父

カトリック新聞 月2回 長谷川集平の連載始まる

読み切りの短い小説、タイトルは「ベガーズバック」乞食の宴会―福音書の大宴のたとえ(ルカ14・15)―とも重なります。

掲載は月2回(隔週)、1回目7月22日、2回目8月5日掲載予定。中町教会所属。

ふどっく園

【大曾教会の電話番号】0959(53)1920 ※FAXはありません。

【聖パウロ女子修道会長崎修道院】新FAX番号095(893)6062

【ミニリレ講演「永井隆を語る」】8月4日(土)13時半 長崎市民会館6階 講師・松田道生氏(自治医科大学名誉教授、永井隆の甥) 入場無料。

【青少年のための広島平和巡礼】8月5日(日)6日(月) 1泊2日 5000円 教区宣教委主催

申込先・教区本部事務局 TEL 095(842)4450

▼原爆殉難者慰霊祭 8月8日(水)19時 長崎市松山町原爆落下中心地

▼世界の昆虫展in瀬戸山 8月12日(日)19日(日) 田平教会信徒会館 鳥山邦夫師採集の珍しいチョウなど標本2万点。

▼根獅子・紐差合同殉教祭 8月14日(火)19時 平戸市根獅子の浜

▼佐世保地区平和祈願祭 8月15日(水)10時 アルカサSASEBO

▼イエズス会立山修道院お知らせ

●祈りの一日 9月12日

(水) 9時50分〜15時半 ※8月30日(木)は中止です。

●ともに祈る日々 10月6日(土)〜8日(月) 初日17時〜最終日15時半 ※9月1日(土)〜2日(日)は中止です。

「祈りの一日」ともに祈る日々は、実生活や問題を振り返り、静かに祈りたい、静かな時間を持ちたいと思う方はどなたでも(信徒、一般の方も問いません)自由に参加できるものです。

●8日間の霊操(追加) 9月28日(金)〜10月7日(日)

●30日間の霊操(変更) 9月29日(土)開始予定を10月7日(日)開始(11月8日(木)まで)に変更します。 TEL 095(821)4577

▼講演会「いのちの愛いのり」 9月1日(土)13時半 諫早文化会館 500円 講師・渡辺和子 ノートルダム清心学園理事長 諫早教会主催 問合先・TEL 0957(43)5809(辻本、TEL 0957(26)5310(林)

▼教区結婚講座 9月4日〜28日のうち8回 毎週火・金曜日の19時〜21時15分 カトリックセンター12階講堂

申込先・家庭委員会 TEL 095(842)4450

▼研修会「生け花による典礼表現」 9月9日(日)13時半〜16時 田平教会信徒会館 1500円 聖堂の生け花のあり方を典礼の要素から探ります。 ※聖書、花ばさみ、花器、雑巾、筆記用具持参。要事前申込み(花材準備の都合上、キャンセルの場合もお知らせください)。 申込先・長崎教区典礼委員会研修会事務局 TEL 0956(75)0688

寄付

長崎カトリック神学院

●匿名様

●古田逸雄様(浦上)

●田島 修様(神崎)

右の方々からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

香典返し お礼とご報告

長崎コレジオ

●内野久子様(飽の浦) 故フランシスコ

●内野 勝様

●中島健二神父様(平戸) 故マリア中島アヤコ様

●長崎カトリック神学院

●中村 徹様(出津)

●故フランシスコ・ザビエル中村 繁様

●松岡 裕様(名古屋在住) 故マリア松岡シヅ子様

●濱本保男様(浦上)

●故ヨアンナ濱本直子様

●森田 清様(諫早)

●故ミカエル森田幹男様

●松崎イツ工様(大崎) 故ミカエル

●松崎要太郎様

右の方々から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごい福を心からお祈り申し上げます。

2007年教区司教黙想会

6月12日から15日までの4日間、教区司教の黙想会が司教館を会場に行われた。説教師は教皇庁で働いている濱尾文郎枢機卿。教皇庁では移住移動者司牧評議会の議長を経験し、パチカンでの経験を踏まえて示唆に富んだ黙想指導をしていた。評議会議長に任



黙想会の指導をした濱尾枢機卿

命されたとき、幼子イエスがエジプトに逃れ、いわば難民となっていたことをたとえに、この職務がイエスに奉仕する大切な任務であると教皇ヨハネ・パウロ2世に励まされたことや、職務の内容についての興味深い話を聴くことができた。

教会は「神との親密な交わりと全人類一致のしるしであり道具である」(教会憲章1番)。この

竹谷富士雄神父帰天

大阪教区司教ヨゼフ竹谷富士雄神父は、カトリック仁豊野ヴィラで静養中だったが、6月11日、肺ガンのため帰天した。86歳。1921年3月21日新上五島町仲知(津和崎郷)生まれ。1951年12月23日司教叙階。

長崎医師会 井手政利(西町教会)

○写真・御絵・思い出など 彫刻

○石碑

○納骨石工事

○納骨堂分譲

なが さき せき ちゅう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明

☎(095)862-2469

長崎市梁川町6-17 岩永ビル2F

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社

西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己

本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地

TEL (0956) 31-8268

車イスでお墓参り 祈りの丘

小江原車庫前バス停より徒歩3分

夢が丘ニュータウン県道向かい、車50台以上駐車可能

長崎大理石 (TEL) 095-839-0374

経営管理者 (TEL) 095-839-1008

墓地、墓碑一切230万円(8月31日まで)

本原教会の誇り

「キリストの聖体」 聖体行列を続けて46年

「キリストの聖体」の日の6月10日、本原教会(長崎・中地区)で城山教会のヒルデン神父を迎え、聖体行列を行った。雨天は聖堂、天気の良い日は野外で、聖体行列の実施は46年も続き半世紀を超える日も近い。

本原教会の聖体行列について、佐伯哲也評議会議長は、誇りに思っています。日本では、あまり見られなくなった



6月17日(日)水主町教会で「第1回青年のミサ」が開催され、21人の青年が参加した。ミサ前にはちぎり絵作成、来月2月に長崎で開催予定の日韓学生交流会についての話し合いも行われた。テーマは「青年のつながり」、ミサを司式した

第1回青年ミサ

水主町教会



の祭日。1264年制定され、聖体の秘跡に対する崇拝形態を示す。行列の間、聖別されたホスチアが礼拝する信者たちに示され、子供たちが行路に花弁をまく。(写真は野外ミサ、聖体行列)

岩崎晋吾神父は「皆さんは今日ここに集まってくなりました。もう離れることはありません。次はこの集まりに1人でも多くの人をつなげるように頑張りましょう」と青年たちを励ました。

このミサは5月に行われた召命委員会主催の島原巡礼ウォークに参加した青年たちが発案し、企画したもの。「これから青年たちが定期的に集まってミサができればいいな」という思いが、さっそく実現した。今後も毎月で開催を予定している。

家族みんなで祈ろう 親と子の集い

長崎南地区

神さまのいのちを家族で育てよう。家族みんなで祈ろう。をスローガンに、長崎南地区の修道女連盟と信仰教育委員会の共催で、6月3日(日)中町教会と信徒会館を会場に「親と子の集い」を開催した。この集いはも



ともと、長崎南地区の修道女連盟が司祭・修道者の召命が減少している昨

育委員会への呼び掛けで始めた企画。当日は長崎南地区の8小教区から約200人の参加者があった。そして、親と子供の割合はほぼ同じくらいで、はじめに親子が一緒に、谷脇誠一郎神父司式の「みことばの祭儀」にあずかった。その後会場を移し、大人は教会で古巣馨神父の講話を聴き、子供は信徒会館で教会や祈りに関するゲームやバズルに挑戦した。反省点というより収穫の多い集いだった。



マチアス 里脇福市修道士 (マリア会・東京シヤミナード修道院) 5月28日、シャミナード修道院で帰天。105歳。旧外海町西出津出身。里脇浅次郎枢機卿の兄弟。少年時代、マルコ・ド・ロ神父の影響を受け1914年浦上のマリア

学院の志願生として入学。20年初誓願宣立。44年明星修道院(学校会計、道徳科教師)63年宗教法人責任役員、65年管区財務部長兼任。92年海星修道院、2004年シャミナード修道院。晩年、耳が遠くなったとはいえ、時にはジョークを飛ばして会員の心を癒やし、誰に対しても、何事に対してともいつも「ありがとう」と感謝の言葉を繰り返していた。葬儀ミサ・告別式は同30日、シャミナード修道院聖堂で行った。

旧出津救助院、江袋教会 復旧を支援するコンサート

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が国内の世界遺産暫定リスト候補に選定されることを記念して旧出津救助院と江袋教会の修復を支援するチャリティコンサートが5月27日聖霊降臨の祝日に出津教会で行われた。



旧出津救助院は、ロ神父によって建築され現在、国の重要文化財に指定されているが老朽化が進み、今年から修理修復

が始まる。また、江袋教会も焼損復旧のため本教区も基金を設置し、広く支援を呼び掛けている。コンサートは長崎の教会群を世界遺産にする会、アジエンタNOVAなどがさき、フェルム・ド・外海が主催し、午前



会谷崎新一郎神父によるギター演奏(写真)、午後の部ではお告げのマリア修道会の合唱や楽器を使った演奏などがあり約500人が美しい演奏に聴き入った。休憩中参加者には地元で作ったパンや手料理が提供された。コンサートの中で高見

高野師(黒崎出身)故郷で「金祝」5月30日、黒崎教会で郷土出身の高野利雄神父の金祝を盛大に祝った。高野師は長崎海星中学を卒業後、上智大学へ入学、その翌年、カナダ、モントリオール神学院留学、



大司教は「長崎の教会群と世界遺産登録の意義について」講演(写真)。ヨハネ・パウロ2世は1993年独立の機関として「教会文化遺産委員会」を設置した。これは教会が持っている文化遺産で歴史的に価値ある建

公開聖書講座

6月14日、カトリックセンターにおいて、教区生涯養成委員会主催・春の公開聖書講座が開催された。講師の湯浅

俊治師(福岡サン・スルピス大神学院教授)は中心的メッセージを的確に伝えようと熱意をもって教えた。演題は今年度の聖書講座のテキスト「歴史書と知恵文学」による「旧約時代・約束と希望の歴史」。「契約に忠実か不忠実か。忠実な民には祝福、不忠実な民には災い」という明確なメッセージの中に神の絶え間

ない回心への招きを感じた。時を超えて私たちは同じような歴史を繰り返す。「人は神に立ち返ることで未来に希望を見いだす。真実の希望は救い主キリストによってもたらされる。私たちがそこに向かう時、歴史は希望となる」。最後に述べた言葉が印象的だった。

純心高・大学生ら7人米国での平和祈念式典で合唱 長崎セントポール姉妹都市委員会は、8月9日セントポール市で初めて行う祈念式典に純心高生4人、純心大生2人、教師松本裕子さん計7人を派遣する。式典では「平和の歌―千羽鶴―」(燦祭のうた)を合唱する。8月6日出発。

高校生平和大使に聖和女子高平井翔子さん選出 毎年長崎市の平和団体が選んで国連欧州本部に派遣する高校生平和大使に聖和女子高2年平井翔子さん(16)が選出され、8月18日出発する。メンバーは外国人2人を含む6人。核廃絶を願う署名簿を持参し平和を訴える。

5月22日、大村で最初の殉教者マシヤド、ペトロ両神父の遺徳を偲ぶミサが帯取「十二社権現」殉教地で行われ、水主町・

植松教会の岩崎・中村(倫)両神父司式のもと、両教会の信徒約170人が参列、祈りをささげた。



十二社権現は小高い閑静な場所にある、390年前に起きた処刑地とはとても信じがたい。1614年、家康が発布した伴天連追放令の3年後のこと、そのほとんどが追放されたが、数人が潜



伏し、布教活動が続けたという。周囲に現存する一瀬一族のキリシタン墓碑が史実を物語っている。処刑した奉行は後に受洗、キリシタンに便宜を図る活動が発覚し、40歳で殉教した。現代の信徒に語り継ぐ信仰遺産のひとつともいえる。



平戸ザビエル祭

殉教者と記した赤ろうそく列福式まで各教会で灯す

平戸ザビエル祭が7月8日、平戸文化センターで行われミサに600人が集まった。ミサは6月の列福宣言を受け、キリストの光をザビエルから殉教者が、さらに私たちが

受け継いでいることを表す光の典礼から始まった。同地区内で福者とされた生月のガスパル西夫婦と息子の名が書かれたろうそくを、殉教者と同じ年齢にあたる生月の54歳男女と24歳の青年信徒が奉持し、殉教者の大きく強い炎が心に残った。

船員の日と重なったこの日、高見大司教は、ザビエルが乗船して来られたことにも触れ、私たちの暮らしを支えている船員と

教区評議会

長崎教区評議会は、6

月3日カトリックセンターにおいて2007年度総会を開催した。評議会は奇数月第1月曜日常任役員会、奇数月最終日曜日に役員会を開催しており、第1部総会では会務報告・役員選出、活動方針・計画、予算の審議が行われた。第2部分かち合ひでは、7地区による分団会、次にパネルディスカッションが行われた。テーマは①教区方針を意識した活動がで



きたか②評議会方針を具体的に進めることができたかなど。第3部派遣ミサは高見大司教司式で行われた。今期総会は、新旧両評議員参加で実施し、参加するだけでなく参画する評議会を目指した。

た江袋教会復旧のための調査記録集を出版し、県政記者クラブで説明した(写真)。

記録集は野帳実測資料、火災焼損記録など111ページに収め、書店などで販売(3千円)。売り上げの一部は復旧費にあてる。担当の山内実師は「近く教会の復旧委員会を立ち上げ、来年には着工したい」。

十八銀行社会開発振興基金(藤原和理理事長)

シンポジウム「キリシタン殉教からみた国家と差別」

6月30日、中町教会で日本カトリック部問題委員会主催のシンポジウムが開催され、約150人が



者列福調査特別委員会委員長の溝部司教、日本26聖人記念館館長のデ・ルカ・レンゾ師をシンポジストに、権力による迫害と殉教という視点から

ら見えてくるものを探った。それぞれに、キリシタンが見た真宗、キリシタン迫害と国是、差別とキリシタン殉教者、として問題提起、デイスカッ

シオンを行った。日本のキリスト教史はフランシスコ・ザビエルに始まり450年以上。一方、真宗は800年の歴史を持ち、その過去の資料は戦乱などで焼失しているため、当時の宣教師たちがヨーロッパに書き送った報告書などから当時の状況を知ることができたとの興味深い内容にも触れた。参加者は、「差別をどう思っているか、常に自分に問い掛けるこ

との大切さを感じた。宗教・立場の違いを人同士が対話し、互いを知り合う、今回のような機会は大変良いこと」と話した。

教区典礼委員会主催研修会「生け花による典礼表現」が開催された。参加者は地区の各教

会からの信徒約60人。前半は、生け花で典礼を表現するというこについて、考え方や留意点を学び、秘跡や福音を表現する具体例を写真パネルで学習した。後半は、聖書の言葉を読んで、表現する実習。「年間第13主日の福音を黙想し、華道講師の助言を受けながら所定の花材で表現していった。各自の解説カードを添えて作品観賞となったが、いずれも参加者の典礼に対する意識の高さが伝わってきた。

病人見舞いなどの奉仕をしている長崎レジアは6

月2日、殉教者の信仰に触れ活動への力を頂こうと、188殉教者の1人・アダム荒川の殉教地、熊本天草を巡礼した写真。アダム荒川の記念碑は富岡城跡の真下にたたずみ、殉教した入り江は小川となっており、関係者から殉教の概要説明を受けた後、祈りをさげた。

この後、大江教会でミサをささげ崎津教会など巡礼、会員はさらなる愛の奉仕と自己成聖を決心した。

集まった。谷大二さいたま司教同委員会委員長を司会に、真宗大谷派教学研究所の僧侶・藤原正寿師、殉教

者列福調査特別委員会委員長の溝部司教、日本26聖人記念館館長のデ・ルカ・レンゾ師をシン

ポジストに、権力による迫害と殉教という視点から

ら見えてくるものを探った。それぞれに、キリシタンが見た真宗、キリシタン迫害と国是、差別とキリシタン殉教者、として問題提起、デイスカッ

シオンを行った。日本のキリスト教史はフランシスコ・ザビエルに始まり450年以上。一方、真宗は800年の歴史を持ち、その過去の資料は戦乱などで焼失しているため、当時の宣教師たちがヨーロッパに書き送った報告書などから当時の状況を知ることができたとの興味深い内容にも触れた。参加者は、「差別をどう思っているか、常に自分に問い掛けるこ

との大切さを感じた。宗教・立場の違いを人同士が対話し、互いを知り合う、今回のような機会は大変良いこと」と話した。

教区典礼委員会主催研修会「生け花による典礼表現」が開催された。参加者は地区の各教

会からの信徒約60人。前半は、生け花で典礼を表現するというこについて、考え方や留意点を学び、秘跡や福音を表現する具体例を写真パネルで学習した。後半は、聖書の言葉を読んで、表現する実習。「年間第13主日の福音を黙想し、華道講師の助言を受けながら所定の花材で表現していった。各自の解説カードを添えて作品観賞となったが、いずれも参加者の典礼に対する意識の高さが伝わってきた。

病人見舞いなどの奉仕をしている長崎レジアは6

月2日、殉教者の信仰に触れ活動への力を頂こうと、188殉教者の1人・アダム荒川の殉教地、熊本天草を巡礼した写真。アダム荒川の記念碑は富岡城跡の真下にたたずみ、殉教した入り江は小川となっており、関係者から殉教の概要説明を受けた後、祈りをさげた。

この後、大江教会でミサをささげ崎津教会など巡礼、会員はさらなる愛の奉仕と自己成聖を決心した。

マタイ13章33節

「天の国はパン種に似ている。女の人がそれをとって三サトンの小麦粉の中に混ぜると、やがて全体が発酵する」

現在では、私たちの国においても、ほとんどの家庭でパン食が増えてきています。パンを食べたことのない人は、いないでしょう。

五島育ちの幼いころ、パンは私にとって珍しいものでした。でも、パンの代わりに祖母や母たちが作ってくれた「ふくれま

んじゅう」は、私たちの最高のパン食でした。特に、ご復活祭や、8月のマリアさまの被昇天の祝日こ

ろになると、この「ふくれまんじゅう」が我が家を

楽しませてくれていました。小麦粉の中にわずかのふくらし粉(イースト

ものです。イエスさまの時代は、家庭でパンを焼いていたようです。マリアさまは、台所に立ち、イエスさま

で、小麦粉を可愛い手で丸めては、お手伝いをして

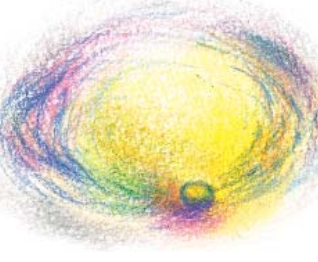
いたので、パンつくりも名人になったのかも知れません。それで、私たちに「パン種」になることを

教えられたのだと思います。小麦粉のような白い粉をした「ふくらし粉」は小麦粉に混ぜられると姿を消して、見えなくなりますが、パンも「おまんじゅう」もその見えない

「ふくらし粉」に助けられて、大きくふーと膨らんで美味しいパンや、ふくれまんじゅうが出来上がります。私たちは、みんな目に見えない神さまのご計画によってこの世に誕生してきました。生ま

みことばにふれて

小島エイ子 修道女 (聖ドミニコ宣教修道女会)



カット 浜口真理子 (城山)

とヨゼフさまのために毎日温かいパンを焼いていたことでしょう。

幼いイエスさまは、その母マリアさまのそば

で、イエスさまの「みことば」を一字一句とばを一字一句書くことによって、イエスさまを身近に感じてきました。(浦上Y・N)

▼今年も病で完走できませんでしたが、今年は家・病院にて完走することができました。テキストと

野(けい)紙の持ち込みも病院から許していただき頑張りました。(三浦町M・T)

▼聖書愛読マラソンに参加して4回が過ぎました。どれほど行い

ら書くことだったが、今

いつも善い人であるように、神と隣人とを愛するようにと心がけています。(大浦N・A)

▼聖書は読むものと思っていま

したが、書くことによって、一言ひとこと心に残りました。来年もこの企画がありましたらぜひ挑戦したいものです。

▼ヨハネ福音書を写聖し、ミサの時その福音書を読まれると、ああ、あ

の部分だったなあ、と心と身体で感じます。(城山R・N)

は7月6日、高見大司教を訪ね、江袋教会復旧費

支援として50万円を贈った。

浦上教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような中、3か月間かけて記録を完成、1633年10月、神父は殉教している。

巻頭に長崎・西坂殉教地、1622年 元和殉教。1619年 長崎・御船蔵町 イルマン・レオナルド木村の殉教(現在の大黒町に船が入港している)の貴重な絵の写真を掲載。いずれも南蛮絵師によるものでローマ・イエズス教会に保管されている。日本26聖人記念館で発売、頒布1000円。

長崎教会の広報誌「神の家族」が7月1日400号を発行した。第1号は1974年(昭和49年4月)、巻頭言には今は亡き浜口庄八師が「復

活の意味」について書いています。広報誌の題名公募は、同師が提案した「神の家族」が特選となり、今日もこのタイトルで発行。題字は里脇枢機卿。

本書は「修道女たちの十日間の黙想指導の実り」と「あとがき」にある。「苦しみ」についてじっくり黙想したい人、さまざまな苦しみを抱え、生きる意味を探している人、読んでほしい1冊。サンパウロ、1050円。

★長崎の元和殉教1622年 ベント・フェルナンデス神父による記録 結城了悟著 本書の記録は、ローマのイエズス会にある35枚の表裏70ページにおよぶ潜伏宣教師の布教活動・迫害を同会総長に宛てている。神父はこの記録を1622年12月に書き上げていたが当時、長崎では迫害、殉教があつており、そのような